

佐伯市民大学「令和四教室」講座によせて



佐伯市民大学「令和四教室」学長

村上 肇郎

1947年大分県佐伯市生まれ。京都大学で工学士号を取得。2003年4月、Google株式会社 社社長兼Google Japan 代表取締役社長としてGoogle入社。日本におけるGoogle企業体の責任者を務める。2009年Google Japan を設立発起人。2011年Google Japan を専念し退任。村上肇郎事務所代表。

地方創生の重要性が叫ばれて久しい昨今、佐伯市においても、その特徴を活かした自律的で持続的な地域社会を創生していく必要が蓄まっています。

佐伯市では令和3年2月に「佐伯市民大学「令和四教室」を開講しました。

「ローカルでありながらグローバル」という考えの下、市民が幅広い分野で学び、本市が抱える様々な課題や社会情勢の変化に対応し、「さいき7つの創生」を推進する「佐伯人(さいきび)」の育成を目的としています。

「令和四教室」は、佐伯藩8代目藩主・毛利重熙(もうりたかす)が1777年に開講した藩校「四教室(しこうどう)」にちなんで名づけられました。「四教」とは、論語にある「文(学問)、行(徳行)、忠(忠実)、信(誠信)」と言われており、藩内外から多くの生徒が学んだとされています。

時代が変わってもなお、この「令和四教室」が市内内外から多くの人が学び、地域力を再発見していく場となることを願っています。

講座の目的

佐伯市内外在問わず、地域創生の学びに関心を持つ人々を対象に、自然と人と地域共同体のかかわりに関する思想や哲学を基盤とし、「さいき7つの創生」にかかわる分野を総合的に学習する講座を実施することにより、内発的で持続可能な地域の発展に寄与する価値観と行動力を持つ人材の育成を行います。

\*内発的発想とは「伝統の再創造」であると社会学者の船見和子は定義しています。

講座の特徴

まずは招へい講師による講座の前に、講師の著作や論文、記事等を読み込む講座(1~2講座)をおこない、内容に対する自分の考え方や立ち位置を思考してもらいます。招へい講師の講座では、講師からの主要なメッセージを受け取ったのも、主に質疑応答や地域の文脈における議論などが主になります。

3年目のR6年度4月の講座から5か月間は、受講生の関心あるテーマ別のグループ形成を促し、自主的なグループ研究活動を地元学の会のメンバーや講座コーディネーターがサポート。3年間の学びの集大成としてR6年9月に、グループ研究発表会を実施。行政や地域の方、一般市民からの評価をいただく予定です。



後期講師陣も続々決定 (スレキあり)

|   |                           |
|---|---------------------------|
| <br>小谷 純久 (元 筑紫学権士)<br>(九州大学工学研究科環境社会部門 特命教授) | <br>古川 保 (一級建築士)          |
| <br>島谷 幸弘<br>(九州大学工学研究科環境社会部門 特命教授)           | <br>辻 誠一郎 (歴史学専攻 准教授)     |
| <br>辻 信一 (文化人類学者)                             | <br>藻谷 浩介 (日本総合研究所 首席研究員) |
| <br>杉浦 嘉雄 (日本文学系 名誉教授)                        |                           |

佐伯市民大学・令和四教室の講座は、「地元学の会」が運営しています。

水俣で生まれた地元学の手法で地域に埋もれた宝を見出し、地域力を再発見する学びを軸とした市民大学講座を運営するために結成された会です。地元学とは「ないものねだりを やめてあるものを探し、地域の持っている力、人の持っている力を引き出し、あるものを新しく組み合わせ、ものづくり、生活づくり、地域づくりに役立てていく」という思想を核とし、それぞれの風土と暮らしの成り立ちの物語という個性を確認し、大地と人と自分に対する信頼を取り戻し、自分たちでやる力を身につけていく学びです。

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>参加費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 1講座ごとの場合 1,000円(税込)<br/>→ 会費にて現金支払い</li> <li>□ 前期全納 (15回) 12,000円(税込)<br/>→ 指定口座へ、事前に入金いただけます。</li> </ul> <p><small>* 振込先等は、お申込み後にお知らせします。<br/>* 専攻校生の参加は無料です。<br/>* 当日申し込みは原則受け付けません。</small></p> | <p><b>お申し込み</b></p> <p>QRコードより<br/>Google フォームにて</p> <p>FaceBook<br/>公式ホームページ</p> | <p><b>お問い合わせ</b></p> <p>メール<br/>saiki.jimotogaku@gmail.com</p> <p>地元学の会 事務局<br/>Tel.0972-48-9293<br/>大分県佐伯市戸穴1304-1</p> |
|---|---|---|

地元学の会

佐伯市民大学 令和四教室

前期・講座プログラム  
令和3年12月~令和5年3月

佐伯市民大学 令和四教室 前期・講座プログラム

宮沢賢治の自然観と「祖母・傾・大淵エネスエコパーク」

野生の力で今を生き抜く 未来社会のデザインを語ろう

講師タイトル

SDG s の物語をつくる

宮沢賢治の自然観と「祖母・傾・大淵エネスエコパーク」

野生の力で今を生き抜く 未来社会のデザインを語ろう

佐伯市民大学 支援事業

地域力の再発見!

自然と人と地域を紡ぎなおす学び。

## 市民大学講座の構成

### 前期 (2021年12月～2023年3月)

12月の第1回講座(プロローグ)で、まず「地域力の再発見」のテーマを支える「内発的発展論」の学習から始まり、佐伯市宇目を含む祖母・楨・大瀬ユネスコエコパークという国際的に認知された貴重な自然資源の保全と活用の学習が続き、さらに「自然と人と地域」の関係性を、人間の精神性(スピリチュアリティ)、思想、歴史、哲学、教育の分野の専門家から多面的に学びます。

### 後期 (2023年4月～2024年9月)

より現実的な地域や社会の課題(温暖化対策、住環境、自然環境、ライフスタイル、河川環境)について、持続可能性を視野に取り組む方法を様々な専門の講師から学びます。

### 前期・後期を通して

2024年3月までは内発的で持続可能な社会づくりのための、**価値観を形成するプログラム**。  
2024年4月から最終月の9月までは、**行動力の形成を目指すプログラム**として、2年間半の学習の成果として、受講者自身による「地域力」を再発見するための**グループ研究プロジェクト**の立ち上げ、最終発表のためのワークショップを予定しています。


全てが繋がります!

## 前期 スケジュールと講師と課題

| 日程          | さいき7つの創生にかかる分野                            | 講師         |
|-------------|---|------------|
| 2021年12月26日 | 自然・生活環境、保健医療福祉、教育文化、まちづくり                 | プロローグ 岩佐礼子 |
| 2022年1月16日  | 自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化                  | 講義 杉浦嘉雄    |
| 2月20日       | 自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化                  | 野外実習 杉浦嘉雄  |
| 3月20日       | 自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化                  | 講義 杉浦嘉雄    |
| 4月24日       |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 5月22日       |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 6月19日       | 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化 | 講義 鬼頭秀一    |
| 8月21日       |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 9月18日       | 自然・生活環境、保健医療福祉                            | 講義 川原一之    |
| 10月23日      |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 11月20日      |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 12月11日      | 自然・生活環境、産業振興、まちづくり                        | 講義 内山節     |
| 2023年1月15日  |   | 予習講義 岩佐礼子  |
| 2月26日       | 教育文化                                      | 講義 星野文雄    |
| 3月19日       | 教育文化                                      | 講義 深津高子    |

## 講師紹介(前期)

講師 / 杉浦嘉雄 (日本文壇大学名誉教授)



1953年、岐阜県大垣市生まれ。専門分野は鳥獣保護・環境教育。2020年3月まで日本文壇大学工学部建築学科「環境・地域創生コース」教授。生物多様性をテーマにした持続可能な地域づくり、生態教育、自然体験活動などを継続的に実施。継続的取組保全に伴う野生動物の個体に関する研究、野鳥を主題にした環境教育や自然体験が子どもの心身の健康や自然環境に対する影響に関する研究、「自然のインターアクト(一体)という関心から考案する宮内山公園の自然観察の仕方」日本生態学会、日本鳥獣保護連盟、日本森林緑地学会、宮内山公園学術委員会、宮内山・楨・大瀬ユネスコエコパーク推進協議会会長。

講師 / 鬼頭秀一 (東京大学名誉教授)



1951年名古屋生まれ。専門分野は、環境倫理学・科学技術社会論。山口大学、青森公立大学、東京工業大学、東京大学を経て2021年まで慶応大学新学長を務めた。生物多様性保全や自然再生、地域社会との関係、持続可能な社会の構築にかかわる理念的な研究、自然山地区数多くの「現場」を歩きつ、ローカルでかつ普遍的な「環境倫理」を「現場」から構築してきた。日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会入局と生物圏計画(MAB)分科会調査委員、日本学術会議環境委員会、環境社会学会長、地球システム・倫理学会副会長などを歴任。

講師 / 川原一之 (宮崎大学客員教授・記録作家)



1947年、福岡市生まれ。早稲田大学卒業後、89年に朝日新聞社入社。入社後、75年に全国公共放送事業者の実験活動に加わり、94年に「アジア社会ネットワーク」を結成し、アジア各地の地産汚劣の調査・対策にあたる。著書に「岸土むらと息と」を境とするの巻(1988秋原野)ほか。2017年「第3回国民文化祭」において「2018」のテーマ「アベノミクス」における佐伯市の「祖母・楨・大瀬ユネスコエコパーク講座」の講師を務める。現在朝日新聞宮崎版で土呂久を公費事件も含め、環境や歴史的な全体像から捉える長期連載「和の巻」に力を注いでいる。

## 講座内容(前期)

注:会場と時間は受講生申し込み人数によって変更の可能性がります。講座のおまわりには決定しますのでフェイスブックページへ掲載します。ご利用いただけない方は、事務局メールアドレスまたは電話へお問い合わせください。

後発日、講座内容をネット配信予定。日時はFacebook公式ページより告知。

講座① プロローグ  
『地域力の再発見』から柳田国男と南方熊楠の内発的発展論を紐解く

日時: 2021年12月26日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所 代表 岩佐礼子  
(講座コーディネータ 兼 講師)

1

講師 / 内山節 (哲学者)




日本を代表する哲学者。1970年代から東京と群馬県上野村の二重生活を続けながら、在野で、存在論、労働論、自然哲学、時間論において独自の思想を展開する。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科特任教授や東京大学大学院人文社会科学研究所兼任講師を歴任し、2016年3月まで立教大学21世紀社会デザイン研究科教授を務めた。著書に「新・幸福論 近現代の心を変えるもの」、「無」という思想、「日常」はなぜアツクに生まれ変わったのか、「文明の災厄」ほか。2015年冬に「内山節事件」(農文協)全15冊が刊行されている。

講師 / 星野文雄 (羽黒山伏) 山伏名: 尚文



1946年山形県出羽三山・羽黒山(後宮)「大聖坊」に生まれる。1971年「大聖坊」十三代目を継承。2007年、「冬」の暮る日行、松葉を踏め、羽黒山伏高位「原修松聖」となる。出羽三山神社責任役員理事、NPO法人公益のふさと創り開創理事。千人以上の行者を先導しながら山伏返りに尽力、海外交流を促す外国人の修行も長く、全国「山伏の和道を活かす生き方」を「見直し」として展開。近著に「野生の力を取り戻せ-羽黒山に学ぶふるさとの山」に記さるう稽古がある。2021年、NHK「Eテレ」山伏、現代(仏)を伝える一冊の山伏 出羽三山から、に出演。

講師 / 深津高子 (国際モンテッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー)



1980年代、タイ/カンボジア国にてインパクト観光の取組活動中、恒久的な平和構築の方としてモンテッソーリ教育に出会う。帰国後は資格を取得し、モンテッソーリスクールに勤務。現在は、全国で保育のアドバイスや、講演活動、通訳、翻訳などを通じて、モンテッソーリのメッセージ「平和は子どもから始まる」を伝えている。元国際モンテッソーリ協会理事、ピースボート「子どもたちの家」アドバイザー。

講師 / 岩佐礼子 (あまべ文化研究所代表)



1977年に佐伯城高校卒業後、明治学院大学で仏文学を専攻し、外資系企業に就職。その後上野のジョージア大学に留学し、開発学の修士号取得後、国際連盟事務局に15年間勤務。主に緊急人道支援の専門員としてアフガニスタンやアジア各国に赴任。帰国後東京大学で環境教育や内発的発展論を研究し、環境学の博士号を取得。2015年「地域力の再発見」を継続的発展論と位置づけ、現在佐伯市のあまべ文化研究所で地域づくりに関わっている。

講座② 宮沢賢治に学ぶ「自然観・宇宙観」と地域づくり(ガイドナンス)

日時: 2022年1月16日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: 日本文壇大学名誉教授 杉浦嘉雄

2

講座③ 宮沢賢治の“内なるハードウォッチング”(実習編)(30名限定のフィールド講座)

日時: 2022年2月20日(日) 午前9時～12時半  
会場: 蒲江インターパーク付近  
講師: 日本文壇大学名誉教授 杉浦嘉雄

3

講座④ 宮沢賢治の自然観と「祖母・楨・大瀬ユネスコエコパーク(BR)」

日時: 2022年3月20日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: 日本文壇大学名誉教授 杉浦嘉雄

4

講座⑤ 鬼頭秀一、内山節他共著『ローカルな思想を創る』(1998農文協)に学ぶ

日時: 2022年4月24日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

5

講座⑥ 『環境倫理3.0へ向けて-SDGsを超えて』(鬼頭秀一 著)に学ぶ

日時: 2022年5月22日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

6

講座⑦ SDGsの物語をつくる

日時: 2022年6月19日(日) 午後2時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: 東京大学名誉教授 鬼頭秀一

7

講座⑧ 土呂久のドキュメンタリー番組「山峡に咲く」に学ぶ

日時: 2022年8月21日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

8

講座⑨ 佐伯と土呂久 一知られざる重工業公害の歴史を学ぶ

日時: 2022年9月18日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: 記録作家 川原一之

9

講座⑩ 内山節 著『資本主義を乗り越える』(2021 農文協)に学ぶ

日時: 2022年10月23日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

10

講座⑪ 内山節 著『民主主義を問い直す』(2021 農文協)に学ぶ

日時: 2022年11月20日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

11

講座⑫ 未来社会のデザインを語ろう

日時: 2022年12月11日(日) 午後2時半～5時  
会場: さき城山桜ホール 小ホール  
講師: 哲学者 内山節

12

講座⑬ 星野文雄、瀧辺清乃 共著『野生の力を取り戻せ』(2021日本能率協会マネジメントセンター)に学ぶ

日時: 2023年1月15日(日) 午後2時半～5時  
会場: さき城山桜ホール 小ホール  
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

13

講座⑭ 野生の力で今を生き抜く

日時: 2023年2月26日(日) 午後3時～5時  
会場: ル・バンドハウス  
講師: 羽黒山伏 星野文雄

14

講座⑮ 平和は子どもから始まる

日時: 2023年3月19日(日) 午後3時～5時  
会場: 佐伯東地区公民館 集会室  
講師: 国際モンテッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー 深津高子

15